



創 立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAXL 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

# 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリー会長のテーマ  
 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
 【 会長 シェカール・メーター 】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「コロナ禍でも楽しく有意義な  
 クラブ運営をめざして」  
 【会長：藤崎 康人】

## 第 1335回 例会

令和3年12月22日（水）

### 《 会 員 卓 話 》

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング

◇ 四つのテストの歌

◇ お客様紹介

藤崎 康人 会長

それこそロータリー

第2790地区ロータリーポリオプラス委員長  
 松永 達人 様（富里RC）



成田ロータリークラブ 渡邊 孝 様



◇ ニコニコ BOX

・藤崎 康人 会長



《富里 RC でロータリーポリオプラス委員長の松永様、本日はポリオのお話を  
 していただけるとの  
 事でニコニコいたします。》

## ◇ 会長挨拶 藤崎 康人 会長



皆さんこんにちは。本日は、今年のご最終例会です。

本日は、お客様として、富里ロータリークラブから、松永達人さま、成田ロータリークラブから、渡辺孝さま、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごしください。

本日お越しいただきました松永さまは、2019-20年度の富里ロータリークラブの会長を務められ、その後、今年度の2790地区のロータリー財団委員会のポリオプラス委員会の委員長をされています。

松永さまは、ポリオについていろいろ活動をされていて、富里ロータリークラブの会長エレクトの時に、ポリオのロータリー活動が活発なフィリピンのロータリークラブを単身で訪問し現地のロータリークラブの活動にも参加されたご経験があります。本日はポリオについて勉強になるお話をしていただけたと思います。

ところで本日は冬至です。冬至にちなんだ話を少しさせていただきます。

冬至という日は、皆様ご存じだと思いますが、昼間の時間、つまり太陽が出ている時間が1年中最も短い日です。天文学的には、地球の公転面状の地球の位置が黄経で270度のところになった日のことだそうです。なんだか難しくよくわかりません。

冬至といえば、カボチャを食べる、とか、柚子湯に入るとか、言われています。

そのいわれについて少し調べてみましたので、話したいと思います。

冬至に南瓜を食べるようになったのは、どうやら江戸時代の始め頃からの様です。元来南瓜は、南アメリカ大陸原産の野菜で、日本に伝来してきたのは江戸時代前の1550年頃の様です。生育適温は25～30℃前後の熱帯性の植物のため、日本におけるかぼちゃの旬は夏です。なんで、夏に採れる野菜を冬の冬至に食べるようになったかという、昔は現代と違って野菜を1年中食べることは難しい時代でした。そのため、ビタミンなどの多くの栄養を含むかぼちゃを、野菜の不足する冬の時期に食べることで、厳しい冬を元気に乗り切ろうという江戸時代の人たちの「冬至の日」への想いが込められていた、ということです。カボチャについては、また別のいわれもあります。カボチャのことを別名「なんきん」とも言います。お正月の後に粥としていただく「春の七草」は有名ですが、冬の七草というものもあるのをご存知ですか？

冬の七草とは、

1. なんきん (かぼちゃ)
2. れんこん
3. にんじん
4. ぎんなん
5. きんかん
6. かんてん
7. うんどん (うどん)

ひらがなで、すべて「ん」が2つある食べ物で、運(うん、ん)をたくさん取り込む「運盛りの野菜」といわれ、冬至を境に運を盛り返す意味で上記7種類の野菜を食べることが習慣となったといわれています。その一つが「なんきん」(南瓜・かぼちゃ)ということです。あと、柚子湯です

が、この習慣は江戸時代からあったようです。1838（天保9）年に刊行された、江戸の年中行事を紹介する「東都歳事記（とうとさいじき）」によると、「冬至 今日銭湯風呂屋にて柚湯を焚く」との記述があります。「冬至」を「湯治」にかけ、「柚子」を「融通が利く」（＝体が丈夫）にかけて、お風呂屋さんが始めたとされています。冬至にまつわる、たわいもない話でしたが、これにて会長挨拶で終わります。

◇ 委員会報告その他 なし

◇ 幹事報告 萩原 康宏 幹事



■回 覧： 多古 RC 週報

■例会案内・変更： 富里 RC・佐原 RC・多古 RC

■その他： ガバナー公式訪問例会集合写真の配布

先週の例会で会長よりお話した「フードパントリーなりた」を12/25に行いますので、ご賛同いただける方につきましては詳細をご確認の上、成田市保健福祉会館にお持ちください。

卓 話 第2790地区ロータリーポリオプラス委員長 松永 達人様（富里 RC）



ポリオというのは急性灰白髄炎、小児麻痺とも言いますが非常に感染性が高い伝染病で特に感染しやすいのは5歳以下の子供です。神経を冒して永久的な筋力低下や麻痺を引き起こす命に係わることのある病気です。現在のところ治療法や薬はありませんがワクチン投与によって予防は可能です。日本では1980年を最後に発症は確認されておられません。

しかし今アフガニスタンとパキスタンで4件発症してしまっていてそのまま放っておきますと今後10年で発症数20万件にのぼってしまうだろうと言われています。

ポリオとロータリーの関係ですが、国際ロータリーがポリオを根絶する為に1985年以降、約15億ドル(1650億円)を寄付しております。およそ25億人以上の子供にワクチンにて予防接種をしてまいりました。現在、発症率99.9%減少しました。根絶まであと少しなのですが、今まで以上の会員の認知、寄付活動が必要となっております。

ロータリーにとってポリオとは、「ポリオの無い世界と認定されるまで国際ロータリーおよびロータリー財団にとってポリオ根絶は最も重要な目標でありそうあり続けなければならない。ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまでいかなる他のプロジェクトも検討されない」つまりロータリーにとって最重要奉仕プログラムとなっております。

ロータリーのポリオ寄付の2倍の額をビル&メリンダゲイツ財団が上乗せすると2020年から3年間の継続を発表して頂きました。ビルゲイツがポリオ根絶させるのに本気になってロータリーとやっという事です。

我々クラブ単位では年間一人当たり30ドルの寄付と自動的に寄付ができるロータリーカードの作成を推進しております。達成の為にはより多くの会員へのポリオ根絶の周知が必要になります。

私はポリオ根絶の活動の盛んな地域で世界ポリオデーを見たくてフィリピンのアンティポロ市というところに行きました。多くのロータリアンが赤いTシャツを着て参加していました。

私も富里RCでポリオ委員会を作り、世界ポリオデーにチャリティーゴルフを開きまして今年度は23万6千円の寄付を集めることができ、一人30ドルの目標を優に達成できました。また、国際ロータ

リーの最重要プログラムを行うことによってベテラン会員と若手会員の共通の奉仕意識が芽生え、クラブの活性化に繋がると思います。

この地区でも成田山の世界ポリオデー祈願プロジェクトを行いまして皆様にご協力頂きました。ぜひ皆様のクラブでもポリオ根絶イベントを開催して頂けるようお願い致します。

卓話 「木倉義文 幻のレーサー復刻版」 滝澤 政樹 会員



日本のモータースポーツというのは、記録に残っているのは1936年多摩川のスピードウェイが完成したところからです。このサーキットの観客席の跡が今多摩川の土手に残っているそうです。本田宗一郎がここで走って優勝しました。

1962年に鈴鹿にサーキットができました。ここはホンダが2輪車の開発の為に作りましたが、1963年に4輪車の第一回日本グランプリが開催されました。ここから日本の国産車の発展が始まります。1964年位から自動車レースが熱くなっていき、1965年船橋にサーキットができました。これが日本の4輪レースの始まりです。

木倉義文と私はこの頃に出会います。木倉義文という人はグランプリレーサーになりかけた男なのですが、弱冠51歳で亡くなりました。今から55年程前の話です。

1964年のオリンピックの年、高校2年でオートバイの免許をとり千葉ホンダでオートバイを購入して走っていました。その頃に一年歳が上の、木倉義文という男に出会いました。

木倉義文はそれから車に転向しましてホンダ車で船橋のサーキットから始まり鈴鹿のサーキットで活躍しました。

### 日本モータースポーツ界の歴史 1962~

**サーキットとレース**

年	出来事
1936	多摩川スピードウェイ完成
1952	鈴鹿サーキット完成
1953	船橋にて第1回日本グランプリ開催
1955	船橋サーキット完成
1956	富士スピードウェイ完成
1956	富士スピードウェイにて第3回日本グランプリ開催
1957	船橋サーキット閉鎖
1959	船橋にて事故。ホンダの4輪スポーフカースからの撤退
1970	筑波サーキット完成
1970	アメリカにて大気浄化法改正法(マスキー法)
1970	マスキー法規制対策により、日産、トヨタなどレースから撤退
1971	富士グランチャンピオンレース開催

**日本グランプリ**

- 1963~1965...市販車を改造したオープンカー中心
- 1966~1969...国産レーシングカー
- 1970...開催中止

**富士グランチャンピオン**

- 富士スピードウェイ主催の大会
- 国産レーシングカー・特種マシン・ドリフトカー、F1ライク中心のプライベートチーム
- エンジン、市販されている物を使用
- 1971...年間中絶開催(林義雄の制限は無し)
- 1972...エンジン排気量2000ccまでに変更
- 1980...F2マシンとスポーツカーの改良による富士のF2マシンが全米
- 1987...エンジン排気量上限3000ccに変更

### 木倉義文 1947~1996

経歴

1947年2月11日生誕 1996年9月2日永眠

**戦歴 1965~1973**

年	開催地	クラス	順位	備考
1965.12.26	船橋	オープンカー	優勝	
1966.4.1	船橋	オープンカー	優勝	
1966.5.29	船橋	オープンカー	4位	
1966.7.29	船橋	オープンカー	優勝	
1966.8.27	船橋	オープンカー	優勝	
1966.9.23	船橋	オープンカー	優勝	
1967.1.14	船橋	オープンカー	優勝	
1967.2.18	船橋	オープンカー	優勝	
1967.4.29	船橋	オープンカー	優勝	
1967.5.26	船橋	オープンカー	優勝	
1967.6.29	船橋	オープンカー	優勝	
1967.8.12	船橋	オープンカー	優勝	
1967.9.15	船橋	オープンカー	優勝	
1967.10.14	船橋	オープンカー	優勝	
1967.11.11	船橋	オープンカー	優勝	
1968.1.19	船橋	オープンカー	優勝	
1968.2.16	船橋	オープンカー	優勝	
1968.3.16	船橋	オープンカー	優勝	
1968.4.13	船橋	オープンカー	優勝	
1968.5.11	船橋	オープンカー	優勝	
1968.6.9	船橋	オープンカー	優勝	
1968.7.7	船橋	オープンカー	優勝	
1968.8.4	船橋	オープンカー	優勝	
1968.9.1	船橋	オープンカー	優勝	
1968.9.22	船橋	オープンカー	優勝	
1968.10.20	船橋	オープンカー	優勝	
1968.11.17	船橋	オープンカー	優勝	
1968.12.14	船橋	オープンカー	優勝	
1969.1.11	船橋	オープンカー	優勝	
1969.1.18	船橋	オープンカー	優勝	
1969.2.15	船橋	オープンカー	優勝	
1969.3.12	船橋	オープンカー	優勝	
1969.4.9	船橋	オープンカー	優勝	
1969.5.7	船橋	オープンカー	優勝	
1969.6.4	船橋	オープンカー	優勝	
1969.7.2	船橋	オープンカー	優勝	
1969.7.23	船橋	オープンカー	優勝	
1969.8.20	船橋	オープンカー	優勝	
1969.9.17	船橋	オープンカー	優勝	
1969.10.14	船橋	オープンカー	優勝	
1969.11.11	船橋	オープンカー	優勝	
1969.11.18	船橋	オープンカー	優勝	

### 日本グランプリを彩った名車 -ホンダ-

**ホンダS800 (1966~)**

ベースは、1966~1970年まで生産された小型スポーツカー、通称「S8」

水冷直列4気筒DOHCエンジン  
フェードトライブ  
排気量 872.8CC  
最高出力 100PS以上

**ホンダR800 (1968~)**

日本のモータースポーツに参戦の為ホンダR800の開発

当時ホンダより発表されていたS800のエンジンを、フルタイム16バルブに搭載。開発は、ホンダ副社長の川本儀彦氏とRSC木村昌夫氏のツグでホンダの研究所ではなく、RSC(鈴鹿)を拠点としていた1部門にて製作。

1969年鈴鹿500km耐久レースにて2位に入賞

**ホンダR1300 (1969)**

ホンダR800の活躍を開きつづけたホンダ副社長木村昌夫氏の提案により、ホンダの命運をかけたS1300(空冷エンジン)をR800に搭載し次の鈴鹿1000km耐久レースに参戦出来ないやむを得ずの打診があり、突如工事に製作。

レース参戦は2台体制の為、R800の改修車と新規に1台を製作。開発は、R800の開発に携わった2名の他に、F1チームが参戦。

1969年6月 鈴鹿1000km耐久レースに参戦  
1969年8月 鈴鹿12時間耐久レースで悲劇的な事故に巻き込まれた

当時1戦目終了後藤沢副社長は、鈴鹿で勝利したら24時間への参戦を公言していただけに残念な結末であった。

### 日本グランプリを彩った名車

**トヨタ7**

1968年型 3リットルNA  
1969年型 3リットルNA

**ボルシェ・904**

1964年デビュー

**プリンス-R380**

1966年~ 直8DOHC 1996CC

**ボルシェ・906**

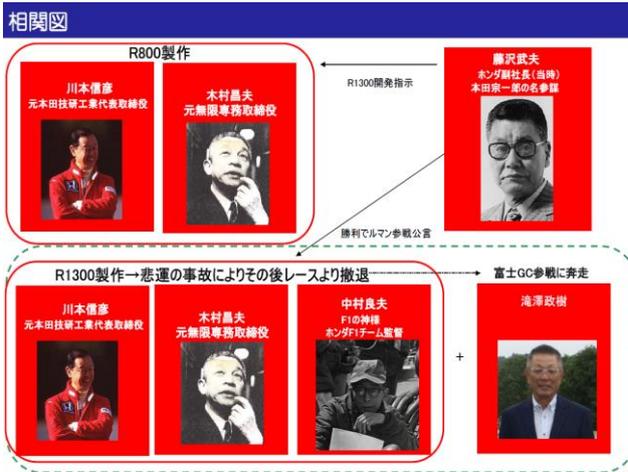
1966年デビュー

ある 12 時間耐久レースで勝ったらル・マンという海外のレースに行けるといところで事故があり、ホンダのヨーロッパ参戦は中止になりホンダのレースはここで一回中断してしまいました。

更に当時、ホンダも日本中のメーカーも、マスキー法という排気ガス規制でレースに知恵と力と金をかけられなくなっていました。排気ガス対策をしなくてはならないので殆どのメーカーがレースをやめていました。

でもレーサー達はレースがやりたいという事で、富士グランチャンピオンシリーズというのが始まります。ホンダ車は富士と三菱の関係でこの大会には出られない為、木倉義文はプライベートで車を用意しなくてはなりませんでした。

F1 の神様中村良夫氏の紹介でローラ T290 という車を手配し、ホンダの F1 を創った川本氏、木倉義文の車をずっと作り無限の専務だった木村氏といった方々と私でイギリスに購入しに行き手に入れました。



**富士グランチャンピオンレース 1971~**

**富士参戦まで**

マスキー法対策の為、大手自動車メーカーが撤退。1971より、富士スピードウェイにて富士グランチャンピオンレースが開催されるが、参戦=ホンダ 富士=三菱地所の関係があった為、富士への出場は当初ホンダ側は難色を示していた。度重なる交渉が続き、RSOの隈村も変わった事で、富士に出られるチャンスがやってくる。

富士のレギュレーションは、  
 ①2座席レーシングカーもしくは、特殊グランドツーリングカーであること。  
 ②エンジンは市販のものを使用。  
 ③ドライバー中心のプライベートチーム。

参戦決定を受け、シャーンを、F1レースの神様、中村良夫氏に依頼し、「ローラT290」を手配。日本グランプリのホンダ資金期を支えた、川本氏、木村氏と滝澤で、参戦に必要なパーツを渡英し購入。



写真より、川本氏、木倉氏、ダグワース氏(コスワース社長)、中村氏  
 撮影 by 滝澤

**富士グランチャンピオンを彩った名車**

<p><b>ローラ-T180 (2座席ツーリングカー)</b></p> <p>ローラ-カーズ(イギリス)              1968年発売のオープン2座席スポーツカー</p>	<p><b>マクラーレン-M12 (2座席ツーリングカー)</b></p> <p>7.0LシボレーV8搭載 700馬力</p>	<p><b>ポルシェ-917 (スポーツカー)</b></p> <p>レース専用のスポーツカー              4494CC 520馬力</p>
<p><b>ローラ-T290</b></p> <p>ローラ-カーズ(イギリス)              1972年発売 2000CC用マシン 富士GCに参戦</p>	<p><b>シェブロンB19</b></p> <p>シェブロン(イギリス)              18L FVエンジン搭載</p>	<p><b>ニッサンフェアレディ-240ZG</b></p> <p>特殊グランドツーリングカー</p>



2011.12.12 日本経済新聞朝刊に特な全面広告を掲載し、同日行われた、F1最終戦(アブダビGP)決勝へ臨んだ。

2015年のF1復帰から7年、今シーズンで撤退を決めて臨んだ決勝は、最終周でフェルスタッペン(レッドブル)がメルセデスを交わって劇的なポールトゥウィンを取った。

フェルスタッペンがワールドチャンピオンに輝くとともにホンダが、ついに悲願のF1選手権制覇を成し遂げた。

ホンダエンジン搭載車両のチャンピオン獲得は、1991年のアイルトン・セナ依頼30年ぶりの快挙である。

今回の卓話を迎えるにあたり、このようなドラマチックな展開になり有終の美を飾るとは、何れの運命を感じました。

ありがとう中村さん  
 ありがとう川村さん  
 ありがとう木村さん  
 ありがとう木倉さん  
 ありがとうホンダ

御清聴有難う御座いました。 滝澤政樹

12月12日の日経新聞にこんな記事がありました。これから最後のホンダのレースをやりますという記事です。

次はEVのレースでエンジンのレースは終わりますという事です。

この記事に私は大変感動しました。最後に勝ち、いい結末でホンダのF1レースは終わりました。

☆ 本日のお料理 メニュー



## 2021-22 年度 12 月役員理事会 議事録

日 時：令和 3 年 12 月 8 日(水) 13:30～14:30

場 所：ホテル日航成田

### 1. 議 題：

#### 1 クリスマス例会の会計報告について【親睦活動委員会】

予算：参加者 40 名 夫人家族 10 名 収入：770,000 支出：770,000

決算：参加者 40 名 夫人家族 12 名 収入：782,845 支出：782,845

(当日不参加 3 名 7,000×3 名 徴収スミ)

以上、決算報告があり満場一致で可決した。

#### 2 RYLA の参加について

2022 年 2 月 5 日 千葉三井ガーデンホテルにて開催 (日帰り)

参加要請 男女各 1 名 / 1 クラブ 会費 10,000 / 人 年齢制限 30 歳に対し三栄メンテナンス (萩原幹事) より参加の要望があった。交通費、参加費 (10,000 円 / 人) と交通費は当会で負担し、研修終了後、例会にて報告する事で承認された。

#### 3 2020-21 年度の会計報告について

2020-2021 決算報告 (2020 7/1～2021 6/30) について、一般会計 収入の部において、コロナ禍により下期会費を 11 万円から 6 万円と減額した結果、年会費 360 万の減額となったが次年度繰越金 735,920 円を確保出来た。

各種イベント自粛のためクラブ運営費の例会費 予算に対し-784,596 円、登録負担金 予算に対し-689,000 円、委員会活動費においては、親睦活動費 予算に対し-3,330,850 となり大幅に減少した説明があり満場一致で可決した。

#### 4 その他 特になし

### 2. 協議事項

① オンラインによる例会出席について (定款第 7 条第 1 節による) → 継続協議

② 5 月の夜間例会の開催について (2 月は新入会員オリエンテーション) → 継続協議

③ その他（別紙参照）

3. 報告事項

1 2021年12月のロータリーレート 114円

理事会出席者（敬称略／順不同）

藤崎(康)、藤崎(政)、神谷、萩原、大竹、沢田(克)、村島、田中、滝澤、奥村、高木（正）、【オブザーバー】長谷川(浩)

以上

◇ 出席報告 \*メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	12月8日	70名	5名	35名	27名	7名		60.87%
本日例会	12月22日	70名	5名	32名	31名	4名	53.73%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022